

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年12月10日～12月16日)

平成 27 年 (2015 年) 12 月 18 日

H E A D L I N E S

政治

憲法法廷を巡る情勢

キャメロン英首相、ポーランドを訪問

シャトコフスキ国防次官、V4国防副大臣会合に出席

マチェレヴィチ国防大臣、ポルトラク・ウクライナ国防大臣と会談

ドゥダ大統領、ウクライナを訪問

経済

銀行税と商業施設税の歳入は合計75億ズロチ

2015年経済成長率は3.6%見込み

11月のインフレ率は-0.6%

ポーランド、トップ20の観光先入り

LOTのスト妥結

11月の自動車生産は増加

ポーランドが大気汚染を理由に欧州司法裁判所に提訴される

再生可能エネルギー法の施行が6か月送れる見込み

最初のLNGがカタールより到着

シドゥウォ首相、COP21での合意を評価

大使館からのお知らせ

パスポートダウンロード申請書のご案内について

年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

大使館広報文化センターの開館時間について

東日本大震災義捐金受付について

文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

憲法法廷を巡る情勢【12日～16日】

12日、ワルシャワにて民主主義擁護委員会(KOD)主催の憲法法廷人事を巡る与党「法と正義」(PiS)、政府及び大統領の動きに反対するデモが開催され、野党関係者を多く含む約5万人(注:ワルシャワ市発表、警察発表は1万7千人～2万人)が参加した。

13日、与党「法と正義」(PiS)は、34年前の戒厳令を記念する行進を実施し、約1万5千人(ワルシャワ市発表、警察発表では4万人～4万5千人)が参加した。今次行進は、現在の憲法法廷人事を巡る動きを踏まえ、憲法法廷前まで行進が行われた。カチンスキPiS党首は、憲法法廷を巡る問題は、民主主義の擁護の問題ではなく、PiSが準備している大改革を阻止するための試みである旨述べた。

14日、シドゥウォ首相は、シュルツ欧州会議議長が独ラジオにおいて現在のポーランド情勢が「クーデターの性格を有している」と発言したことを受けて、シ

ュルツ欧州会議議長に謝罪を要求する旨述べた。

14日、コモロフスキ前大統領、クファシニエフスキ元大統領、コパチ前首相を含む元大統領、元首相及び元上下院議長計15名が公開書簡を発出し、憲法法廷の権威及び独立性に揺るがしている現状への懸念を表明した。

15日、PiSは、憲法法廷に関する修正法案を下院に提出した。同修正法案には、憲法法廷(判事計15名)の各審議に参加する判事の数現在の9名から13名への拡大、判決を下すにあたりこれまでの過半数ではなく2/3の判事の同意が必要となること等が含まれている。

16日、12月3日の憲法法廷による前期の下院における本年6月の関連修正法案の合憲性に関する判決が官報に掲載された。これに関し、デラ大統領府次官は、本件判決の官報への掲載は、前期の下院が選出した判事の宣誓を受け入れないというドゥダ大統領の決定に何の影響も与えない旨述べた。

外交・安全保障

キャメロン英首相、ポーランドを訪問【10日】

9日・10日、キャメロン英首相がワルシャワを訪問し、10日にシドゥウォ首相及びドゥダ大統領と会談を行った。シドゥウォ首相との会談では、主に英国によるEU改革案及び安全保障政策につき意見交換が行われた。シドゥウォ首相は、会談後に、両国は英国によるEU改革案の多くの分野において近い立場を有している、他方、同案にある英国への移民に対する社会給付制限については完全に合意できておらず、将来的に英国政府が受け入れ可能で人の移動の自由も尊重される共通の立場を形成できることを期待している旨述べた。ドゥダ大統領との会談では、主に安全保障問題、シリア情勢及び難民危機、EUにおける英国の将来の役割、NATOワルシャワ首脳会合及び経済関係につき意見交換が行われた。

シャトコヴスキ国防次官、V4国防副大臣会合に出席【11日】

10-11日、シャトコヴスキ国防次官はプラハで開催されたV4(チェコ、スロバキア、ハンガリー及びポーランド)の国防副大臣級会合に出席した。同会合には、4カ国の防衛協力強化、既存の計画案の実施、V4戦闘グループ及び来年開催されるNATO首脳会合についても協議された他、スウェーデン及びデンマークの代表も出席し、V4・北欧国との防衛協力について協議された。

マチェレヴィチ国防大臣、ポルトラク・ウクライナ国防大臣と会談【14日】

14日、マチェレヴィチ国防大臣はキエフを訪問し、ポルトラク・ウクライナ国防大臣と会談し、二国間軍事協力宣言に署名をした。その後、リトアニア、ラトビア及びエストニアの国防大臣と共に防衛協力発展のための5カ国(バルト諸国・ポーランド・ウクライナ)国防大臣声明に署名を行った。マチェレヴィチ国防大臣は、ウクライナはポーランドの東側の戦略的パートナーであり、安全なウクライナが安全なポーランド及び欧州を意味する旨発言した。

ドゥダ大統領、ウクライナを訪問【15日】

15日、ドゥダ大統領はキエフを訪問し、ポロシェンコ大統領及びヤツェニウク首相と会談した。ポロシェンコ大統領との会談後、ドゥダ大統領は、ポーランド・ウクライナ関係は歴史的な真実に基づかなければならない、ポロシェンコ大統領との間の大統領協議委員会を活性化させる予定である、ウクライナ・ロシア紛争に関してはミンスク合意が期限内に履行される兆候はなく対露制裁は継続されなければならない旨述べた。ポロシェンコ大統領は、ポーランドはウクライナにとって誠実な戦略的パートナーである旨述べると共に、ポーランドから40億ズロチの対ウクライナ融資が行われることを発表した。

経 済

経済・財政政策

銀行税と商業施設税の歳入は合計75億ズロチ【14日】

財務省発表によれば、2016年に導入予定の銀行等金融機関税による歳入は55億ズロチ、ショッピング

モール等商業施設税による歳入は20億ズロチの見通し。また、Ariadna 社の調査によれば銀行税は41%、商業施設税は49%の回答者が支持。

マクロ経済動向・統計**2015年経済成長率は3.6%見込み【10日】**

開発省によれば、2015年の経済成長率は3.6%となる見込み。また、12月の失業率は10.3%と二桁台に戻る見込みと発表。

中央統計局(GUS)によれば、11月のインフレ率は対前年同月比-0.6%、前月比-0.1%。他方、16日の中央銀行(NBP)発表によれば食品・エネルギー価格を指し引いた11月のコア・インフレ率は対前年同月比0.2%。

11月のインフレ率は-0.6%【15日】**ポーランド産業動向****ポーランド、トップ20の観光先入り【14日】**

ポーランド観光局(POT)によれば、ポーランドは世界で最もよく訪問される国の18位、欧州では11位にランク入りした。2014年の外客数は1,600万人で対前年比1.3%増。観光はポーランドGDPの5%を占めており、主にドイツ、チェコ、スロバキア、ベラルーシからの訪問。

新報酬制度には12百万ズロチの賃上げが含まれ、当面は2016年いっぱいの実施とされている。

11月の自動車生産は増加【15日】

自動車産業専門調査会社 Samar によると、11月のポーランド国内の自動車(乗用車及び商用車)生産台数は前年同月比14.8%増、前月比14.9%増の53,900台であった。今年11か月間の累計においても、前年同期に比べ10.8%増加となっている。

LOTのスト妥結【15日】

LOTの役員会と労働組合の間で報酬制度改訂の折り合いが付き、2年間続いていた集団争議が妥結。

エネルギー・環境**ポーランドが大気汚染を理由に欧州司法裁判所に提訴される【10日】**

欧州委員会は、ポーランドを大気汚染レベルが深刻であるとして欧州司法裁判所に提訴した。ポーランド国内46か所のうち35か所の過去5年間における粉じん(PM10)の濃度が制限値を超えていたことに加え、5か所において家庭における暖房により引き起こされていたことを背景に、欧州委員会はこれらに他isル法的、行政的な対策が不十分であったと指摘している。

ルギーの関連事業者からは、施行が遅れた状態が続けば再生可能エネルギー導入目標との関係で問題が生じる等の懸念の声が出ている。

最初のLNGがカタールより到着【11日】

シフィノウィシチェLNG基地にカタールからの最初のLNG輸送船が到着した。第一回目の輸送では20万立法メートルの液化ガスが運ばれ、今後貯蔵試験等が行われる。第二回目の輸送は来年2月に行われる予定。技術的な検査・試験を経て、来年後半には稼働を始める予定。

再生可能エネルギー法の施行が6か月送れる見込み【11日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、来年1月1日に予定されていた再生可能エネルギー法の施行が市場の不確実さを理由に6か月遅れると述べた。再生可能エネルギー法はオークションにより価格設定が行われることになり、従って低い価格で落札されたものが公的支援の対象となる。そのため、現行の制度での支援を受けるため駆け込みでの投資が増えていると言われている。再生可能エネ

シドゥウォ首相、COP21での合意を評価【14日】

シドゥウォ首相は、パリで開催されたCOP21での合意について良い方向に歩みを進めたと述べ、ポーランド経済の特性を踏まえ、この合意は対応可能な水準で受け入れることになるとも付け加えた。また、COP21でのポーランドの主張に触れつつ、合意内容が個々の国や地域の経済を損なうことがあってはならないと述べた。

パスポートダウンロード申請書のご案内

来年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されます。これに伴い、詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事**【開催中】展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

【開催中】展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html

【開催中】展覧会「日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】

グリヴィツェ市にて、グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界：武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、茶道具、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所：シロンスク県、グリヴィツェ市、ul. Dolnych Wałów 8a

詳細：<http://www.muzeum.gliwice.pl/>

【開催中】「日本に魅了されて」墨絵・紙人形・油彩展【12月2日(水)～1月15日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、日本からインスピレーションを受けたポーランド人アーティストによる墨絵・紙人形・油彩展が開催中です。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【開催中】国際現代デッサン・フェスティバル「Think Tank lab Triennale」【12月3日(木)～1月3日(日)】

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ市美術大学主催による国際現代デッサン・フェスティバル『Think Tank lab Triennale』にて、日本とポーランドの現代アーティストによる「Two Sticks」展が開催中です。

開催場所：ドルヌィ・シロンスク県、ヴロツワフ市、pl. Polski 3/4

詳細：<http://ttt.wroclaw.pl/en>

【予定】「和音」コンサート【1月10日(日)】

ワルシャワ市にて、太鼓、三味線、琴、尺八を中心とした日本の伝統音楽バンド「和音」によるコンサートが開催されます。

開催場所：マゾフシェ県、ワルシャワ市、アジア太平洋博物館、ul. Solec 24

詳細：<http://www.waon.pl>

【予定】水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」【1月20日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」が開催されます（日本語音声、英語字幕）。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【予定】講演会「浮世絵から謎解き～歌麿・北斎・広重の生きた世界～」【1月27日(水)・28日(木)】

ワルシャワ市・クラクフ市にて、ボストン美術館浮世絵デジタルプロジェクト・プロデューサー（NHKプロモーション）の牧野健太郎氏による講演『浮世絵から謎解き～歌麿・北斎・広重さんの生きた世界～』が開催されます。

開催場所：

マゾフシェ県、ワルシャワ市、ワルシャワ国立博物館、Al. Jerozolimskie 3（27日(水)、17時半～）

マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26（28日(木)、18時～）

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。
報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。
記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）